

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

国家試験が迫ってきました。近年、ビジネス書などで「考える力を鍛えるトレーニング」という言葉が使われるようになっていますが、薬学教育でも「考える力」を養うことがポイントになっています。

情報化社会の今日、目の前の情報が本当に正しいのか?—という視点を持つことが、身近な「考える力」を養うためのレッスンです。物ごとの「正しさ」は状況によって変わるものだと、まずは認識することが大切です。人とのめごとにおいても、一方だけの話を聞くのではなく、両方の意見を聞いて判断しましょう。また、リーダー研修でも出てくる話ですが、「情報を鵜呑みにする」という行為が考えていない典型だと思います。情報化社会では、情報を選別する力も「考える力」なのです。特に薬剤師は「くすり」を取り扱う仕事なので、そのくすりの情報がないと患者さんは安心して服用できません。だからこそ、情報を選別する能力を身に付けましょう。

考える力を養うレッスンとしてもう一つ、相手目線を意識するということがあります。医療は人のためにあるものです。ゆえに「患者さんの立場になって考える」ことは基本ですし、思考力を高めるための重要な視点です。

この2つのレッスンを実践することで自然と「考える力」が養え、薬剤師としての信頼度も高まると思います。薬学生に負けないよう、「考える薬剤師」に磨きをかけていきましょう!

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子